HOVLAND

HP-200

HP-200 STEREO PREAMPLIFIER
取扱説明書

Ver.1.02 FEB.2004

Presented by ACCA Inc.

有限会社アッカ　〒106-0031　東京都港区西麻布1-15-1　森口ビル7F

Tel.03-5785-0661　Fax.03-5785-0662

警告!　安全にご使用いただくために

製品の内部には高い電圧がかかっていますので、製品のカバーを取り外したり、ケースの隙間から異物を差し込んだりすることは絶対にお止めください。感電や火災の危険性がありますので製品のキャビネットを取り外したり、水に濡らすようなことは絶対に止めてください。製品の修理は必ず、お買い求めの販売店、もしくはアッカに依頼してください。

本機の適切な開梱と取り扱い、梱包方法は、本書に記載の説明にしたがってください。

正三角形の中に稲妻が記されているマークは、製品の内部に感電する危険のある高電圧が絶縁されずにかかっていることへの警告を表しています。

正三角形の中に感嘆符が記されているマークは、製品に付属されている印刷物の中に操作やサービスについての重要な指示があることについての警告を表しています。

安全にご使用いただくために

ご使用いただく前に、以下の説明や事前注意事項を注意深くかつ完全にお読みください。

1. ケーブルの抜き差しや機器をクリーニングする時には、本機に接続されているすべての再生機器の電源を必ず切ってください。
2. 本機では電源用の延長コードのご使用はお薦めできません。
3. オーディオ機器のクリーニングにあたっては、引火性の高いものや燃えやすい化学系のものを用いることは絶対にお止め下さい。
4. カバーを取り外したり、部品を取り外した状態で本機に通電することは絶対にお止めください。
5. 液体をこぼすなど本機の内部に湿気を与えないでください。
6. 本機に直接液体をかけたりこぼしたりしないでください。
7. 本機の周囲や通風孔の通風を妨げることは絶対にお止めください。
8. 本機の指定と異なる値のヒューズの使用やバイパスは絶対に避けてください。
9. 絶対に御自分で本機の修理を行わないでください。もし、故障や問題が起きた場合には、お買い求めの販売店もしくはアッカにご相談ください。
10. 極端な高温や低温の場所には置かないでください。
11. 爆発の危険性のある環境では絶対に使用しないでください。
12. 常に子供が触れることのない場所に置いてください。
13. 落雷の恐れがある場合には、必ず電源コードを抜いてください。

目　　次

- 開梱と梱包にあたってのご注意 6
- 設計上の特長 8
- ホヴランドについて 9
- 設置/接続/リモコン 10
- お手入れについて 19
- トラブルシューティング 20
- 真空管について 21
- スペック 22
- アフターサービス 23
- 製品保証 24

INTRODUCTION

はじめに

このたびは、ホヴランドのステレオ・プリアンプリファイアー、HP-200をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、忠実度の高い音楽的な性能をそなえた、リファレンスとなりうるアンプを目指して設計されております。その入念なエンジニアリング、マニュファクチャリングに、永きにわたっておつきあいいただける逸品であることを予感していただけることでしょう。

本取扱説明書を一通りお読みいただき、本機のさまざまな特長や、正しい操作のしかた、お手入れのしかたについてご理解いただき、精密なオーディオ・コンポーネントである本機を正しくお使いくださいますよう、お願いいたします。

また、本機の設置やトラブルシューティングなど、ご不明な点につきましては、お買い求めの取扱店までご相談ください。

開梱と梱包にあたってのご注意

注意!

本機の梱包箱、ならびに梱包箱内部の緩衝材類は保存してくださいますようお願いいたします。本機の修理やアップグレードのために取扱店にご返送いただく際、本機の輸送用として作られた、こうした梱包材類がお役に立つからです。それ以外の梱包にて返送されて、万が一本機が損傷した場合、保証が無効になることもありますのでご注意ください。

開　梱

本機の梱包は、以下の各アイテムで構成されております。

●外箱（茶色）
●内箱（白）
●底面発泡材ブロック
●上部発泡材ブロック

梱包内には以下の製品が入っております。

●電源コード
●リモート･コントローラー（電池装着済み）、六角レンチ、予備ネジ
●取扱説明書、保証登録書、脚用フェルト･パッド4個

1　茶色の外箱を開き、白い内箱のシールをはがします。内箱は、外箱から取り出さないでください。
2　上部発泡材ブロックから、AC電源コード、リモート･コントローラー、その他のアイテムを取り出します。その後、発泡材の両横をしっかり持って引き上げ、内箱から取り出します。
3　底部発泡材に両手を入れて、アンプの両横をつかみます。そのままアンプをまっすぐ上に持ち上げて梱包箱から出し、床の上に置きます。保護ビニール袋、発泡ラップ材を外してください。フロント･パネルのビニール･シートも外してください。
4　発泡材、保護フィルムを含めて、梱包材はすべて保管されるようお勧めいたします。内箱も外箱に入ったままでフタをし、ホコリや昆虫などが侵入しないよう梱包用のテープでとめてください。また、湿気のない場所に保管してください。

開梱時、設置上のご注意

●アンプを取り出す際、手は、汚れや油分のない状態にしておいてください。

●本機のフロント・パネル、もしくはリア・パネルを下にして立てないでください。

●本機の天板には、CDプレイヤーその他の機器類やレコード、書類など、いかなる物も置かないでください。

●本機を正常に動作させるためには、周囲の通気性を適切に保つ必要があります。また、毛足の長いカーペットなどの上に設置すると、底面の通気性が妨げられますので、避けてください。本機は底面から空気を取り込んでシャーシを冷却する設計になっています。

再梱包

引っ越しなどで本機を移動したり、返送したりする必要がある場合は、目的地まで本機が損傷することなく到着できるよう、以下の手順にしたがってください。

1　本機を再梱包する前に、本機のフロント・パネルに、保護プラスチックシートを慎重に取り付けてください。また、本機をプラスチックのホコリよけ袋に入れてから、発泡材ブロックに入れてください。これによって、本機の外観に傷がついたり、輸送中、内部にホコリが入ったりするのを防ぐことができます。

2　底部発泡材ブロックの中にアンプを入れます。この時、端子用の切り込みがあるほうがアンプのリア・パネル側に来るようにしてください。

3　アンプの上に上部発泡材を慎重にかぶせます。この場合も、端子用の切り込みがあるほうがアンプのリア・パネル側に来るようにしてください。内箱にフタをして、品質のよい透明のテープでとめます。内箱に元のテープが残っている場合、紙のテープでは付きませんので必ず透明のテープを使用してください。また、マスキング用のテープやメンディングテープも使わないでください。

設計上の特長

●フル･ファンクション･リモート･コントロールが可能な真空管式ライン･アンプリファイアー
●特別設計のトランス、フィルター･キャパシターを内蔵した電源部
●ホヴランド独自のフィルム＆フォイル･キャパシター“MusiCap”をはじめとする厳選を極めるパッシヴ･パーツ群
●完全なハンド･アッセンブリ、徹底したテストによる、クラフトマンシップあふれる完成度と信頼性
●主要部分の配線にはホヴランド“ジェネレーション3”銀メッキ・インターコネクトを採用
●高精度ステップ式抵抗、デュアル･グラス･ハーメチック･シールド長寿命ロジウム接点リード･リレーを使用したディスクリート回路によるロジック方式37ステップ・レベル･コントロール。2dBステップにて最大70dBアッテネーション。
●マッチングを図った最高級リレーを採用、特別にプログラミングされたロジック基板による、５系統ソース入力切り換え、モノ/ミュート/モニター/バイパス機能切り換え。
●再生レベル、入力ソース名、ミュート、モニター、バイパスの状態を表示するエレガントな円形ディスプレイ。
●アルミニウムとアクリルにより高精度に機械加工された快適な操作感のハンドヘルド･リモートコントローラー。
●赤外線リモート･コントロールは本体から約9m離れても操作可能。
●フロント･パネルのコントロール類には、最高級プッシュボタン式スイッチ、もしくはラッチ式プッシュボタン･スイッチを採用。
●電源オン/オフ時、他のシステム･パーツを保護するノイズ･フリー、時間差ミューティング回路。
●コレット式ピン･ソケット採用金メッキRCAコネクター
●プロセッサー･ダイレクト･スイッチング回路の搭載により、マルチチャンネル･オーディオ/ビデオ･コントローラー機器のシステムアップにも対応（ソース、モニター回路をバイパス、外部オーディオ･ソースをプリセットされた0dBユニティー･ゲインにてライン･ステージに接続）。
●RS-232シリアル端子により、プログラムされたプリアンプ機能のコントロールが可能。ホーム･シアターにおけるオートメーションに対応。
●低電流起動信号を送るDC12Vトリガー出力の装備により、アンプの起動、他の機器の起動が可能。
●堅牢な合金製モノコック･シャーシ採用により各回路基板をアイソレート、アッテネーション回路、ライン段、電源回路間の干渉を低減。エクステリアには透明陽極処理プレート、アクリル/アルミニウム･フェイス･パネルを採用、背面照明の切り換えも可能。

ホヴランドについて

ホヴランドでは、音楽の情熱を忠実に再現できるオーディオ製品を設計・製造しています。その目標は、立体感あふれる、目の覚めるような音楽世界をオーディエンスに体験していただき、音楽家が録音時に刻み込んだハートと表現力をありのままにお伝えすることにあります。

ホヴランドのエンジニアリングチームは、設立以来25年以上にわたり、常にさまざまな回路トポロジーを比較、分析し、パッシヴ、アクティヴそれぞれのパーツ一つ一つについて聴感上の違いを絶えず検証してきました。ホヴランドの製品が、いずれもオリジナルの回路設計、数々の特別仕様のパーツ、カスタム・メイドの線材を採用し、しかも厳格な選定、洗練を経てこうした諸要素の緊密な連携を実現しているのは、いわば必然なのです。

ホヴランドの製品は、いずれもカリフォルニア州ロサンジェルスの自社工場にて、厳格な基準のもとでハンド・クラフトされています。ホヴランドの製品で音楽を再現される時、私たちの情熱と研究が、世界有数のコンポーネントとして長くご愛用いただける、価値ある選択だったことを実感していただけるでしょう。

設置

本機を設置する際は、以下を参考にしてください。

試運転期間

本機は最初に使用した時から優れた性能を発揮できるよう設計されておりますが、数多くの電気部品が一定の期間“ブレークイン”されて最適の動作状態となることにより、さらに性能が向上します。当社の実験からすると、最低でも100時間のブレークイン時間が必要と思われます。このブレークインが必要なのは初めてご使用になる時だけで、その後はごく短時間のウォームアップだけで充分です。

通気性の確保

●本機の真空管その他の部品は、自然な対流によって冷却されています。空気は底面のスクリーン付開口部から取り込まれて、天板に設けられた3つの円形のスクリーン付開口部から排気され、これによって基本的な通気が確保されています。したがって、この開口部をふさがないようご注意ください。アンプをカーペット上に設置する場合、適切な通気性を確保するには、カーペット面とアンプのアクリル・プレートの間に最低でも1.25cmの空きが必要になります。空きがこれ以下になる場合、本機の脚にコーンなどを挟み、アンプの設置高を高くしてください。

●本機の上方にも最低5cm、通気用の空間が必要です。背面がふさがったラック、キャビネット類は、空気の流れを妨げますのでご使用にならないでください。

●本機の後方と壁面の間には、最低15cmの空きができるようにしてください。

接続

＊ご注意
本機の入力、出力の接続にあたっては、AC電源コードが、本機にも壁のコンセントにも接続されていないことをご確認ください。また、AC電源コードを接続する際は、本機の主電源スイッチがオフの位置になっていることをご確認ください。

入力と出力の接続 （接続にあたり次ページの図1をご参照下さい。）

1 オーディオ出力の接続

LINE OUT 1　パワーアンプへのアンバランス出力
LINE OUT 2　第2のパワーアンプへのアンバランス出力
RECORD OUT　レコーディング機器へのアンバランス出力

2 オーディオ入力の接続

MONITOR　レコーディング機器、もしくはイコライザーなどからの信号用アンバランス入力。補助ライン入力として使うこともできます。

BYPASS　ライン・レベルのオーディオ出力機能を備えたホーム・シアターのAVプロセッサーの信号用アンバランス入力。この入力が起動すると、他のソース入力はバイパスされ、プリアンプのボリュームはユニティー・ゲインとなります（フロント・パネルのLEVELディスプレイに表示されます）。これにより、ボリューム・レベルはAVプロセッサーの側で調整できるようになります。この入力を使用しない場合、ボリューム・レベル、ソースやモニターの選択は従来の設定に戻ります。

CD　CD、SACD、DVD-Aプレイヤー、DAC、その他ライン・レベル・ソース機器からの信号用アンバランス入力。

LINE 1　予備のCD、SACD、DVD-Aプレイヤー、DAC、その他ライン・レベル・ソース機器からの信号用アンバランス入力。

LINE 2　ライン・レベル・ソース機器からの信号用アンバランス入力。

LINE 3　ライン・レベル・ソース機器からの信号用アンバランス入力。

PHONO　ライン・レベル出力の可能なフォノ・プリアンプ、もしくはラインレベル・ソース機器からの信号用アンバランス入力。

3 RS232入力の接続

RS232入力は、他社の専用のAVコントロール・システムによって本機の機能をコントロールすることを可能にし、本機をAVシステムに組み込むための端子です。クレストン、AMXなどメーカーが製造する機器がこうしたコントロール機能を備えています。この入力にはD-sub、9ピン・メス端子を接続します。

4 グランドの接続

必要に応じてご使用いただけるようグランド端子を設けています。ここには、フォノ・トーンアームなど、グランドの接続が必要なあらゆる機器を接続することができます。

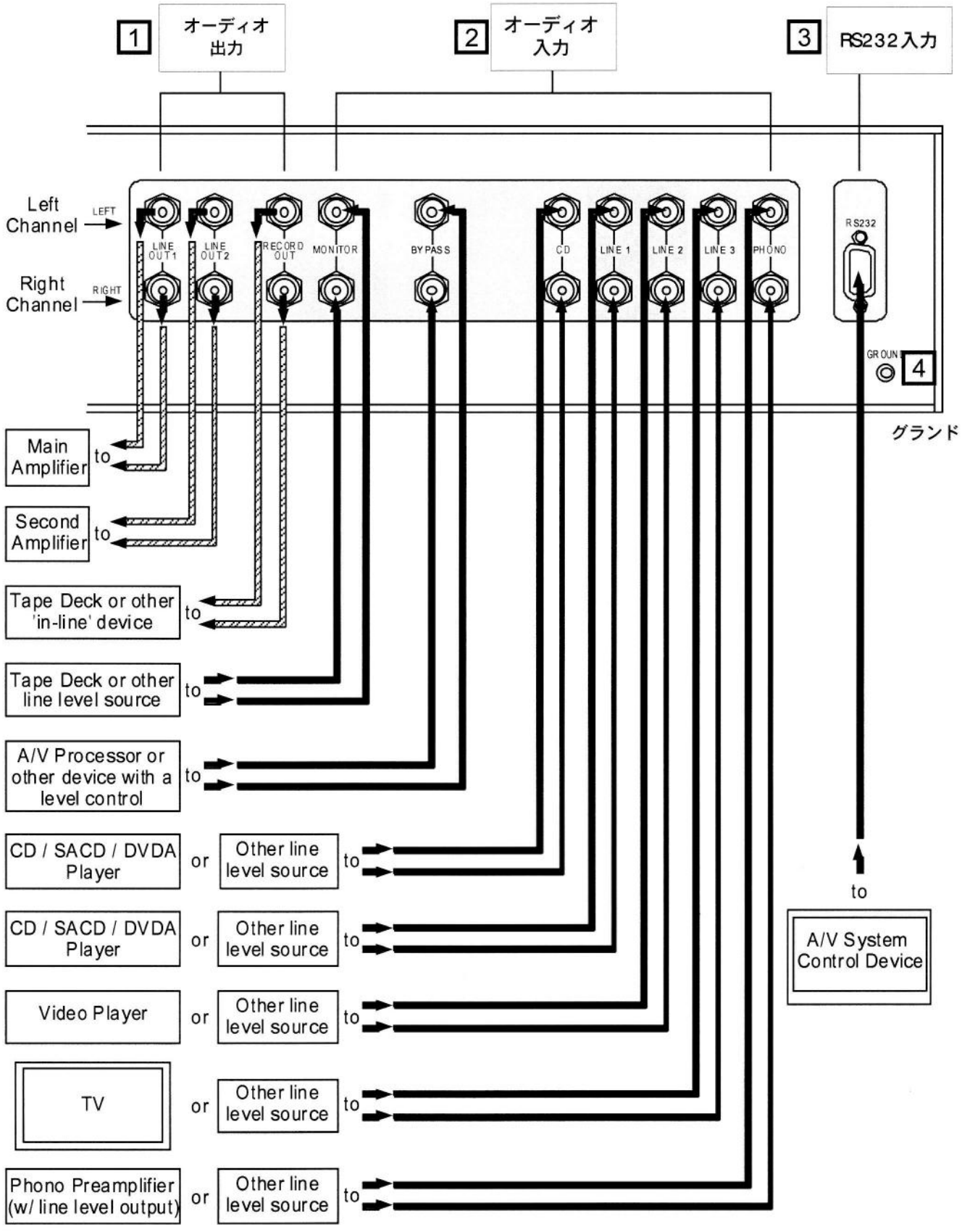


図1　リア·パネル右側と入出力の接続

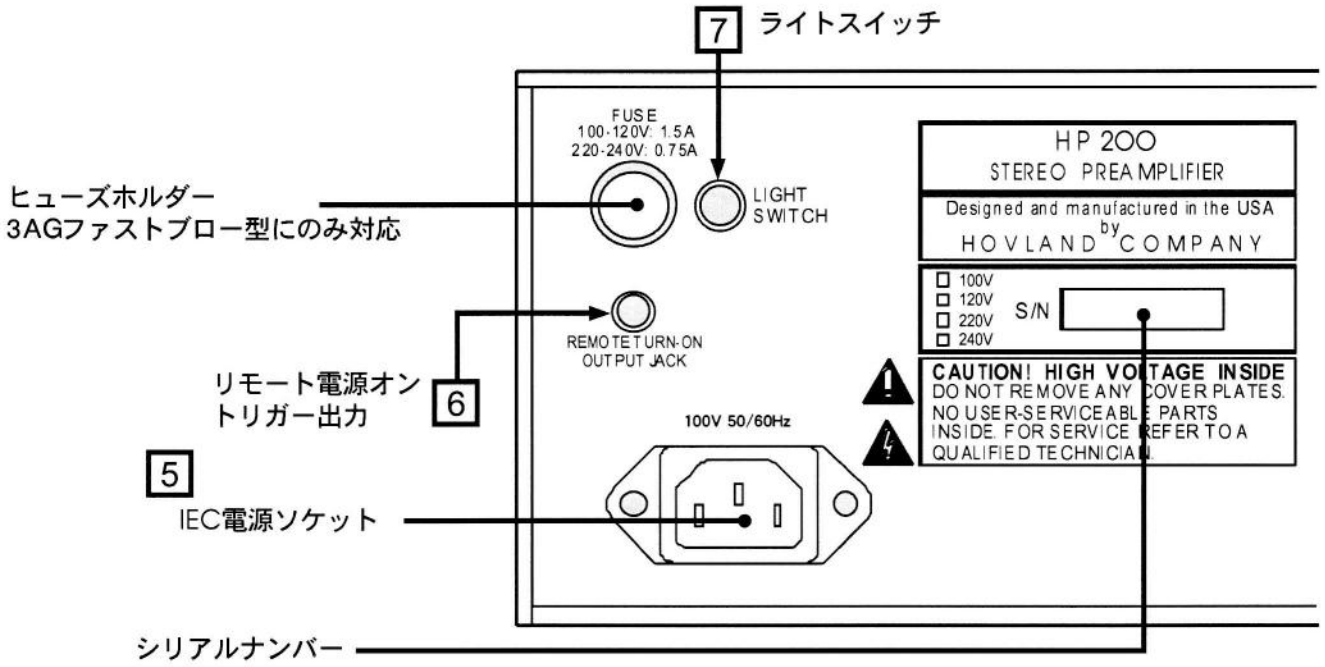


図2　リア･パネル左側

電源の接続とリア･パネルのコントロール類

5　電源の接続

＊接続にあたっては、図2をご参照ください。

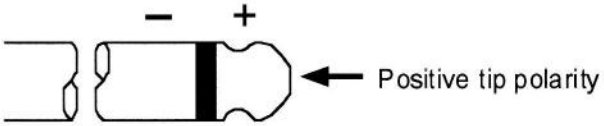
●各機器、入出力接続が確実にできていること、フロント･パネルの主電源スイッチがオフの位置になっていることを確認し、AC電源コードを壁のコンセントに接続してください。その後、AC電源コードを本機リア･パネルの電源コネクターに接続してください。

●フロント･パネルの主電源スイッチをオン位置にしてください。主電源スイッチをオンにすると、フロント･パネルの照明がオンになり、ステイタス･ディスプレイが表示されて、AC電源が接続されたことを知らせます。

＊本機は、真空管と関連回路が安定して動作できるよう、電源投入時のディレイ機能を採用しております。このため、本機に電源を投入したあと、オーディオ出力信号が聴ける状態になるまでに約30秒かかります。

6 リモート電源オン・トリガー端子

1/8インチ“ミニ”ジャックで、パワーアンプを起動する端子です。主電源スイッチをONの位置にすると、この端子に低電流の12V電源オン信号がこの端子に送られ、本機の電源がオフになると、この電圧は解除されます。



7 表示照明スイッチ

フロント・パネルのバックライトをオン／オフします。部屋の照明を暗くしてリスニングする場合など、バックライトをオフにするとよいでしょう。バックライトをオン／オフしても音質には関係ありませんので、常時オンにしておいてもかまいません。また、このスイッチはバックライトのみをオン／オフするものであり、電源オン／オフを示すインジケーターLEDとは関係ありません。

RS232端子のコマンド

シリアル・プログラミング・コード

本機に接続して使用するAVシステム・コントローラーのプログラミング用として、以下のコードを使用します。コントローラーのタイプについては取扱店にご相談ください。

機能	コマンド・コード
ミュート・オン：	MO（ゼロではなく“オー”）
ミュート・オフ：	MF
モニター・オン：	TO（ゼロではなく“オー”）
モニター・オフ：	TF
バイパス・オン：	BO（ゼロではなく“オー”）
バイパス・オフ：	BF
ボリューム・レベル：	L00（“オー”ではなくゼロ）レベル0（最小レベル）
	L01
	L02
	↓
	L35
	L36　レベル36、最大レベル
ソース選択：	S0（“オー”ではなくゼロ）

*文字はすべて大文字ASCII。

＊全コマンドはASCII CRに従う。

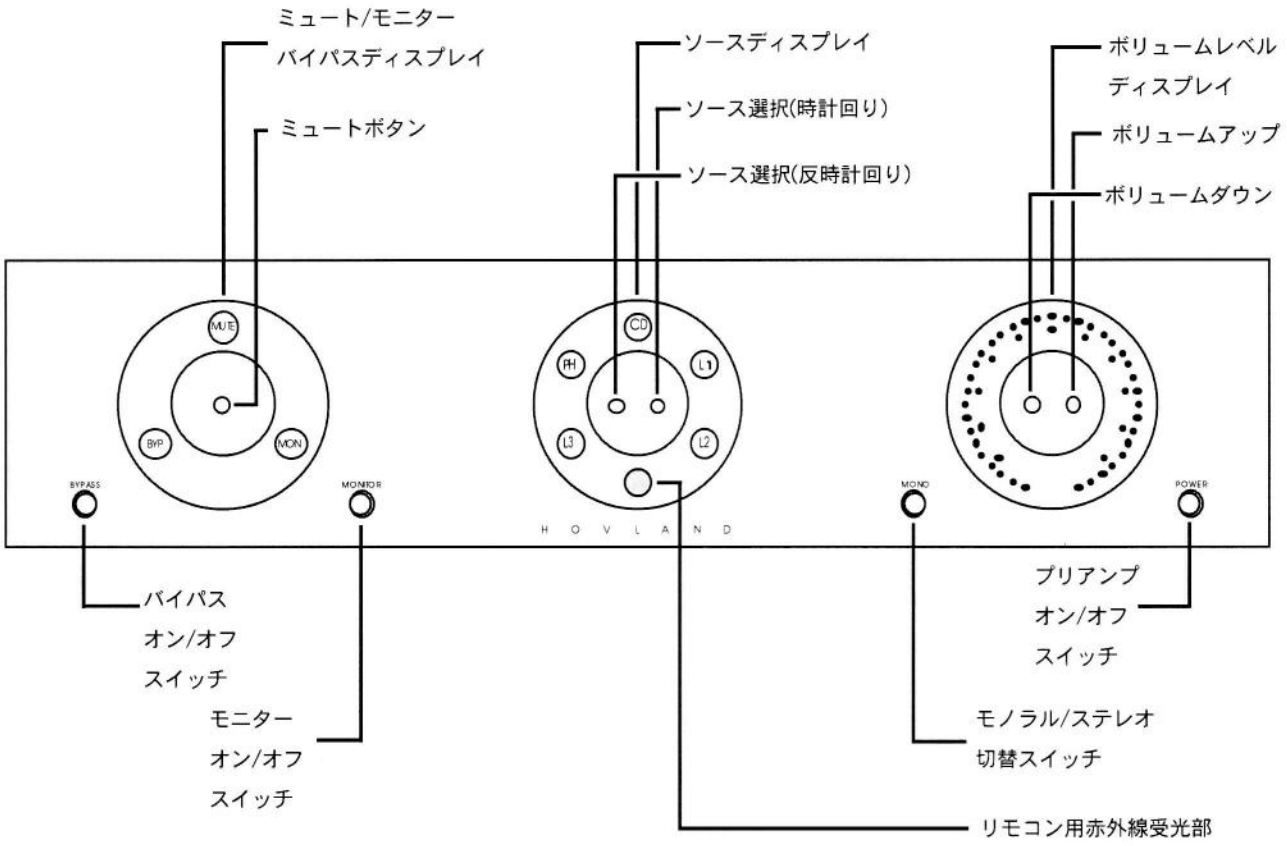


図4　フロント･パネル

フロント･パネルのコントロール類とディスプレイ

＊図4をご参照ください。

プリアンプ･オン/オフ･ボタン
本機への電源オン/オフを行ないます。オンにした場合、ボタンは押されたままになっており、フロント･パネルとステイタス･ディスプレイの照明がオンになります。電源をオフにするには、もう一度このボタンを押してください。

モノ/ステレオ切り換えボタン
このボタンが押されている場合、左右チャンネルの信号は一つにまとめられます。もう一度このボタンを押せばステレオ･モードに戻ります。

赤外線受信部
ソース･ディスプレイ内部に赤外線受信部があります。この周辺に障害物を置かないようにしてください。

モニター・ボタン
モニター機能では、現在録音中の信号を確認することができます。また、この機能により補助的な信号処理機器を本機の信号経路に挿入したり、あるいは補助的なライン・レベルソース入力として使ったりすることができます。この機能をオンにするのがこのボタンです。
モニター機能は、バイパスを除く、現在選択されているソースに対して働きます。モニター機能を使用するには、バイパス機能をオフにしておく必要があります。モニター機能の起動時は、“MON”という表示が点灯します。モニター機能が起動している間このインジケーターが点灯しており、現在選択されているソースの信号が録音出力端子に送られていることを知らせます。
モニター機能を解除するには、モニター・ボタンをもう一度押します。これにより、現在選択されているソースの再生に戻ります。

バイパス・ボタン
本機のバイパス・モードを起動します。このモードが起動すると、ディスプレイに“BYP”の表示が点灯します。AVプロセッサーが本機に接続されている場合、システムの音量はプロセッサー側でコントロールされることになります。
バイパス・モードは、現在選択されているソースや音量の設定を無視し、ボリューム・レベルをユニティー・ゲインに固定します。そのボリュームはボリューム・レベル・ディスプレイに表示されます。
バイパス・モードを使用する際は、モニター機能を解除してください。
バイパス機能を解除するには、このボタンをもう一度押します。これにより、設定は、その前に選択されていたソースとボリューム・レベルに戻ります。

NOTE!

＊モニター端子に何も接続されていない場合、モニター・ボタンを押しても何も聞こえません。バイパス入力に何も接続されていない場合にバイパス・ボタンを押した時も、何も聞こえません。適切な接続が行なわれていない場合は、モニター、バイパス機能を起動しないでください。

ボリューム・レベル・ディスプレイ
ボリューム・レベルは、連続したインジケーターの列によって表示されます。それぞれのインジケーターが2dBの音量変化を表わします。3つのインジケーターごと（6dBのレベル変化ごと）にペアのインジケーターが点灯しますので、離れた場所からもレベル設定が容易に確認できます。

ソース・ディスプレイ
ライン・レベル・ソース5系統のうち、選択されたソースのインジケーターが点灯します。

ソース切り換えボタン
ソース・ディスプレイ中央にあるこの2個の小さなボタンでソース入力を切り換えます。右のボタンはソースを時計回り方向で切り換え、左のボタンは反時計回り方向で切り換えます。

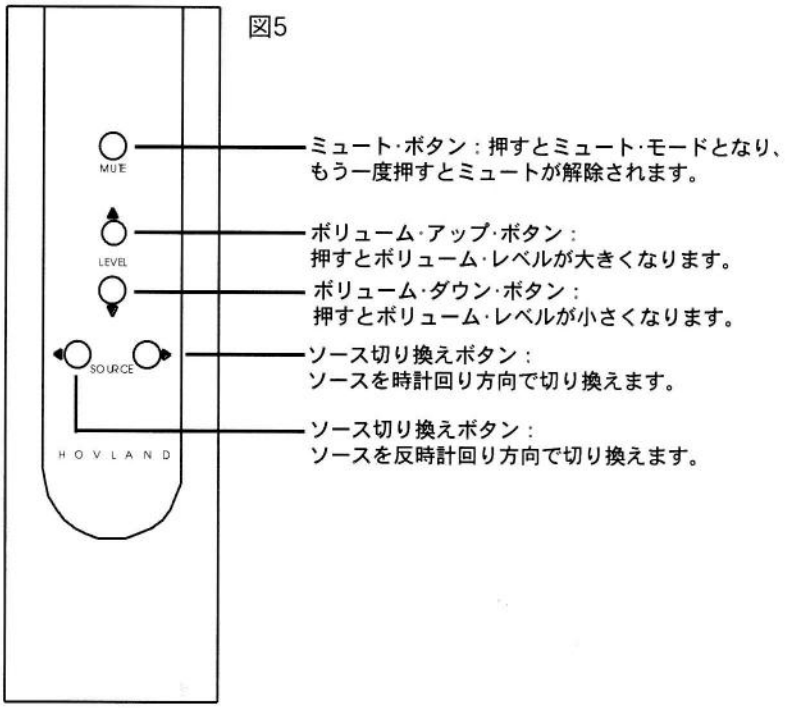
ミュート/モニター/バイパス･ディスプレイ
ミュート、モニター、バイパスの各機能が選択された時、それぞれのインジケーターが点灯します。

ミュート機能
ミュート･モードは、ミュート/モニター/バイパス･ディスプレイ中央の小さなボタンを押した時に起動します。もう一度押すと、ミュート機能は解除されます。
ミュート･モードでは、ボリューム･レベルを小さくすることはできますが、大きくすることはできません。

リモートコントローラー

＊下の図5をご参照ください。

図5



リモートコントローラー
本機には、精密に機械加工されたアルミニウム合金ケースとアクリル･プレートを使用したきわめて高品位なリモートコントローラーが付属しています。
このリモートコントローラーは、長寿命リチウム電池 "CR2032"（3V、20mmボタン電池、装着済み）を使用します。

電池の交換

既に装着されている電池の寿命は2、3年です。バッテリーを交換する際は、装着されていたものと同型あるいはそれ以上の品質の3V、20mmボタン電池"CR2032"を使用してください。このタイプの電池は一般に市販されています。電池を交換する際は、付属の1/16インチ六角レンチとドライバーを使用します。表面の仕上げに傷がつかないよう、柔らかい布などを敷いて作業するようお勧めいたします。

●リモートコントローラーを裏返しにして、ケースを固定している小さな平ネジ4個を取り外します。これによりアクリル･プレートと基板からアルミ･ケースを取り外すことができます。基板をアクリル･プレートから取り外す必要はありません。

●電池ホルダーは基板の位置になっています。六角レンチで電池をホルダーから押し出してください。

●新しい電池をホルダーに装着します。＋の面が上（基板と反対側）に来るように装着してください。

●アクリル･プレートと回路基板をさかさまに取り付け、その上からアルミ･ケースを慎重にかぶせます。無理な力をかけないようご注意ください。

●4個の平ネジをもとのように取り付けます。ネジは締めつけすぎないようご注意ください。

お手入れについて

HP-200の仕上げはきわめて高品位で寿命が長く、適切なお手入れをしていただくことにより、長年にわたって美しい状態を維持することができます。アルミニウムのフェース･プレートは研磨され、高品位なクリア・コートにて仕上げられておりますので、柔らかい木綿の布をわずかに水で湿らせて、定期的に拭いてください。

ご注意

液体洗剤を直接つけることは避けてください。液体が内部に入って部品を損傷することがあります。また、ブラシ、クレンザー、研磨パッドなど、研磨性の洗剤や研磨性の道具は絶対に使用しないでください。また、ワックスや光沢剤などもまったく不要です。

トラブルシューティング

CD、フォノ、その他ライン・レベル・ソース機器が本機に接続されているのに、お手持ちのスピーカーから音が聞こえない場合、まず以下の各点を点検してください。

●すべての機器の電源が入っていますか？
　本機のフロント・パネルとディスプレイが点灯していますか？

本機の電源スイッチをオンにしたあと、本機が動作状態になるまで約30秒かかることを念頭に置いてください。

●ボリューム・レベルは通常のレベルまで上げられていますか？
●ソース切り換えボタンで、今聴こうとしているソースが選択されていますか？
●ミュート、モニター、バイパス機能がオフになっていますか？
●ソース機器間の接続ケーブル、パワーアンプ間の接続ケーブル類がきちんと差し込まれていますか？
ケーブル類の抜き差しを行なう際は、本機、パワーアンプ、ソース機器の電源を必ずオフにしておいてください。

片方のスピーカーからしか音が聞こえない場合、以下の簡単なテストを行なって、原因が本機以前の段階にあるのか、本機以降にあるのかを特定してください。

●ソース機器で音楽を再生した状態で、ボリュームを程々のレベルに設定し、本機のモノ・スイッチを押します。
●これによって両方のスピーカーから音が聞こえた場合、本機以前の段階、つまり本機に接続されたソース機器に問題があり、本機以降の段階、つまりパワーアンプ、スピーカー、ならびにそれらを接続するケーブルには問題がないと考えられます。

以上のテストで本機以前に問題がないことが確認されたら、モノ・スイッチを解除して以下のテストを行なってください。

●本機とパワーアンプの電源をオフにし、ソース機器の入力ケーブルを左右逆に接続してみます。
●本機とパワーアンプの電源をオンにし、ソース機器で音楽を再生してみます。音の出なかったチャンネルから音が出て、音が出ていたチャンネルから音が出ない場合、音が出ていない側の接続ケーブル、もしくはそのソース機器のそのチャンネルに問題があると考えられます。

パワーアンプ、スピーカー側に問題がないことを確認した上で上記のテストを行なってみて、音の出ないチャンネルが入れ替わらない場合、本機とソース機器の入力接続を再点検してください。その後、そのソース機器を本機の別の入力端子に接続し、ソース切り換えボタンにてその端子を選択して、再度聴いてみてください。これでまだいずれかのチャンネルから音が聞こえない場合は取扱店までご相談ください。

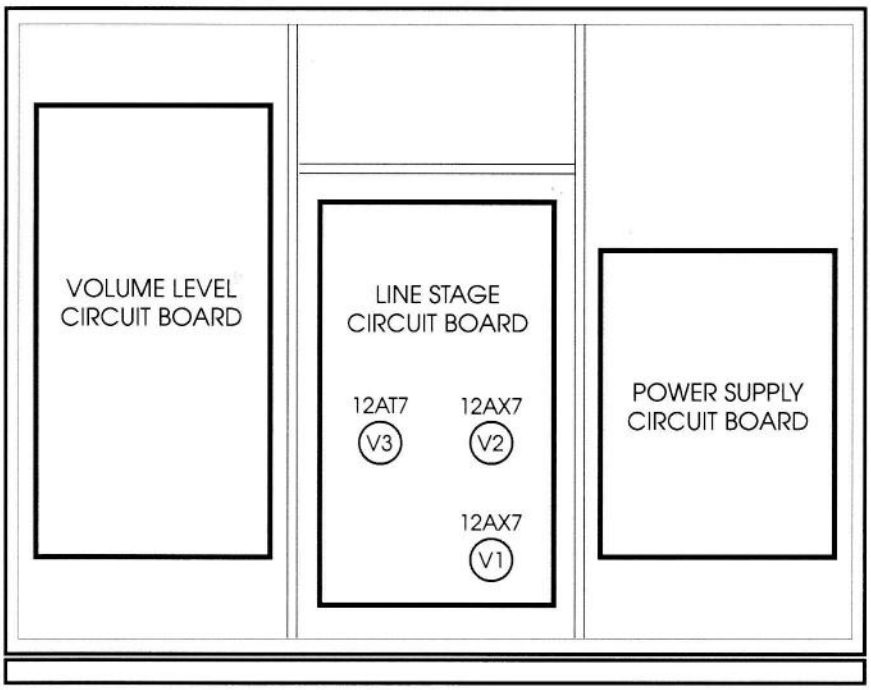
真空管について

ホヴランドでは、“音質改善”を目的とした真空管の交換についてはお勧めしておりません。一般に、異なるメーカー、異なる製造ロットの真空管は、型番が同じであっても動作の諸特性が著しく異なります。ホヴランドでは音質的に最適条件に整えた真空管を装着した上で出荷しており、装着された真空管にて、長年にわたって優れた性能を維持できる設計になっています。

ただし、もし真空管の交換が必要になった場合、ホヴランドでは工場にて適正にマッチングのとられた真空管をご使用になるようお勧めいたします。そうした真空管であれば、最高の性能のものが選択されているはずであり、他のメーカーの真空管を組み合わせる場合よりも緊密なマッチングがとられていると考えられるからです。同じメーカーの真空管の組み合わせであれば理想的です。

なお、真空管の交換については、保証期間が終了したあとでも、ホヴランド取扱店にご依頼くださいますようお勧めいたします。

図6　本機内部、真空管の位置



TECHNICAL SPECIFICATIONS

●入力インピーダンス：　100kΩ（アンバランス）

●電圧ゲイン：　14dB（非反転）

●周波数特性：　10Hz～25kHz（＋0／-0.25dB）

●THD：　0.1％以下（定格出力／3V）

●SN比：　80dB（出力3V以下にて、A-WTD、フル・レベルにて）

●出力インピーダンス：　約2.5kΩ

●使用真空管：　ライン＝12AX7　2本、12AT7　1本

●電源：：　100V、50～60Hz

●外形寸法：　464（W）×124（H）×394（D）mm（最大）

●重量：　12.2kg

※本機に付属している電源コードは本機専用です。

他の機器では使用しないでください。

＊規格および外観は、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

HOVLAND HP-200プリアンプは長期間にわたって高い信頼性を発揮できるように設計されていますが、万一、問題や故障が起きた場合には十分な訓練を受けたサービス・スタッフによってサポートいたします。真空管アンプの内部には高い電圧がかかっており危険です。また、多くの精密なアッセンブリーを傷めることにもなりますので、お客様自身による修理は絶対に行わないでください。もし、お近くにハイエンド真空管オーディオ機器の修理についての十分な能力を持ったサービス・スタッフがいたとしても、HP-200は「アッカ」にサービスを依頼することが最良です。抵抗・コンデンサー・真空管など、HP-200に使われているすべての回路部品やスイッチ類、配線材は性能に大きな影響を及ぼすため特別に選別された部品、もしくは専用に作れた部品が使用されています。
また、設計上の改善が行われた場合にはアップグレードを行うことも可能です。
なお、修理の為に製品を 「アッカ」に返送される際、事前にお電話で症状について「アッカ」にご相談ください。

「アッカ」の連絡先は次のとおりです。

有限会社アッカ　東京都港区西麻布1-15-1　森口ビル7F　〒106-0031
Tel.03-5785-0661　Fax.03-5785-0662

製品はお買い求めの際に使われていた梱包材料を使ってカートン箱に入れて送ってください（保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件です）。HP-200の発送にあたっては、この取扱説明書の"取り扱い／梱包"のページに記載の内容を確認してください。もし、製品を購入された時に使われていたカートン箱や梱包用部材がなくなってしまった場合は「アッカ」から購入することが可能です。

真空管

真空管は同じ型番でもメーカーが異なったり、同じメーカーでも工場や生産ロットによって様々な動作上の特性に違いが生じます。HOVLAND HP-200では、工場から供給を受ける真空管の音質が最適化されており、長期間にわたって高い性能を発揮します。もし、真空管の交換が必要になった時には、HOVLAND社によってペアリングされた真空管の使用をおすすめします。これらの真空管は、他の供給業者のものよりも極めて高い特性を有し、また、それぞれの真空管のマッチングも十分にとられており、HOVLAND社に真空管を供給しているブランド自身のものよりもさらに厳密な選別基準とペアリングがなされています。
保証期間中のすべての修理は「アッカ」によって行われますので、お客様自身で真空管を交換する必要はありません。また、保証期間の満了後であっても、「アッカ」またはハイエンド真空管オーディオ機器に精通した専門家に依頼してください。真空管を交換する場合には安全のためHP-200の電源コードを抜いてから最低30分以上経過した後に製品の内部を開けるようにしてください。HP-200の電源部にかかっている危険な電圧を放電させることが必要です。天板を外すにはAT-15サイズのトルクス・タイプのドライバーが必要です。真空管の配置は基板上に書かれていませんので、真空管配置図を参照してください。真空管にはそれぞれのソケットに合わせて選別とラベリングがなされていますのでこれに従ってください。

製品保証

製品保証期間　"一年"保証

日本国内における製品保証について

日本国内におけるHP-200の製品保証については、以下の保証規定が適用されます。

保証

HP-200に用いられている材料や生産工程には十分な品質管理が施されていることを保証いたします。

製品の保証期間は初代の購入者の購入日から一年間です。

この保証は、購入日から30日以内に同梱の保証登録書を「アッカ」に返送された場合のみ適用されます。

保証内容

保証内容は以下の条件と範囲です。

取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、お客様が誤った使い方 をされた場合、輸送中の事故や不注意、「アッカ」および「アッカ」の指定するサービス･センター以外で修理や変更が加えられた製品に対してはこの保証は適用されません。「アッカ」によって取りつけられた真空管以外のものが使われている場合も保証されません。保証期間中ならびに満了後についても真空管の交換は「アッカ」で可能です。「アッカ」またはその指定するサービス･センターへの返送商品の梱包は、必ずお客様ご自身かお客様の負担でおこなってください。返送商品には必ず不具合の内容を書き記した書類と保証書のコピーを添付してください。

修理

製品の故障が上記保証内容に合致している場合は、部品代および技術料は「アッカ」が負担します。

その他

製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。また、HP-200に接続された機器に対して付随的に発生した故障や費用については一切カバーされません。この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に対して優先します。